



学校図書館便り

文章を書く

中間テストも終わり、夏の長期休みが見えてきました。それぞれの学年で探究学習や卒業研究、調べ学習、読書感想文など、文章を書く機会があると思います。

今回は、図書館にあるこちらの本の内容を引用して、文章を書くことについてお伝えしたいと思います。この本によると『何を書いているかわからない..という人は、文章をいきなり書いてはいけない』とあります。どういことでしょうか？自分の意見をもつために大切なことについて、こう書いてありました。『大切なのは、普段の生活の中で、考える習慣をもつことです。通学時間や入浴時間の10分でも構いません。毎日、何かについて自分なりに考えてみましょう。スマホやテレビなどから漠然と情報を得ている時、人は受動的な状態になってしまいます。物事の意味を考える時は、それらの情報を一度遮断する。それが能動的に思考することにつながります。』

ちんし もっこう

沈思黙考→自問自答

「沈思黙考」は、黙って深くじっくり考えるという意味です。日々溢れる情報を浴びているだけでは、自分の意見や感想は構築できません。自問自答する時間を作ることが、受動的な自分を能動的な自分へと変化させます。

「文章を書く」という行為は、自分という存在と徹底的に向き合うこと。意見が何も出てこない自分を、様々なテーマに関して意見が述べられる自分に変えるためには、普段からあえて情報を遮断し、自分なりに自問自答する時間を作る必要があるのです。

テレビ・PC・スマホ

- 情報に対して受動的になる
- 情報を消費するだけで終わる

情報の遮断

- 情報に対して能動的になる
- 情報の意味を考えることができる

意見の構築

本を読み、自分なりの知識を蓄積しておくことは、情報を判断して、自分の意見を述べるために必要なことです。何か意見を求められた時「うーん、なんとなくそう思って」「とりあえず、みんなと同じ意見にしとくか」から卒業するには、沈思黙考と自問自答する時間が必要ですね。

中間テストの結果がふるわなかった人へ



1年生は初めての中間テストでしたが、どうでしたか？ 学校図書館には、このような勉強に関する本もあります。よかったら参考にしてください。「失敗した..」と思っている人！失敗には必ず原因があります。まず「言い訳」ではなく、まず「分析」→「行動を変える」です。そこで初めて結果が変わってきます。行動を何も変えずに結果だけ変わるということは、ありません。同じように行動すれば、期末も同じような結果になるでしょう。悩んでいる人は、本を読んでみる、三者面談で相談してみるなど、頼れるところに素直に頼っていいと思います。頑張ってくださいね！

読書感想文向けのおすすめ本



図書館前に展示中！
見に来てね！

前期の新书推荐
届きました！

長期休みは5冊貸し出しします！

7/1 (水)から「長期貸し出し期間」に入ります。1人5冊まで貸し出しします。返却は、夏休み明けです。長い期間借りられますので、この機会に色々な本を手にとってみてください。昼休みの開館が終わり次第、長期貸し出し期間は終了です。お早めに。